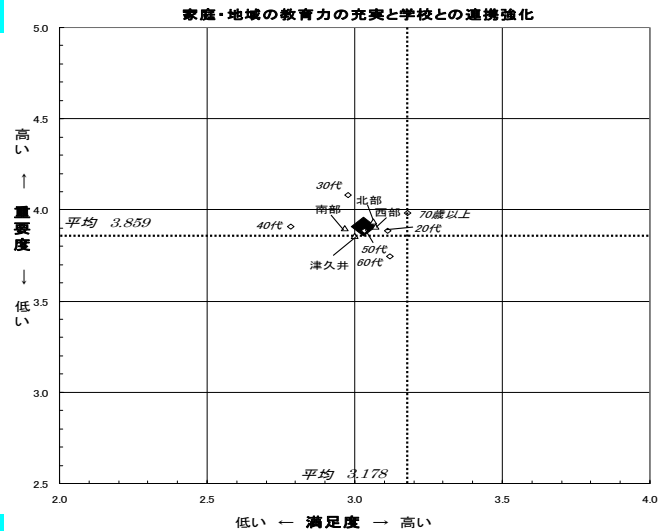


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.030で121施策の中で106番目。
 ○重要度は3.910で55番目である。
 ○改善要望度は0.1410で37番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は30代で最も高く、60代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 2 (1)	
合計		4	評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)	
				1次評価
				B

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	少子化や核家族化に伴う地域コミュニティの希薄化、また、家庭や地域の養育機能の低下など青少年を取り巻く社会環境が大きく変化している中で、青少年の健全育成を地域や家庭に浸透させるため、効果的に事業を進めることが必要と思われる。
解決策	昨年度より実施した11月の全国青少年健全育成強調月間の啓発のほか、健全育成啓発作品及び「家庭の日」写真コンテストの募集放送を今年度から実施し、啓発活動の充実を図る。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

評価基準に沿った評価を行う必要がある。 ⇒評価基準に従い、有効性の評価点を「4点」⇒「2点」に修正し、1次評価を「A」⇒「B」に修正した。	2次評価
	B

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
	B

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

